

タイトル	地域の森と人を生かした体験活動
名称（学校・地域）	佐久穂小・中学校
日時・場所等	
ホームページアドレス	http://www.sakuhoeel-jhs.sakura.ne.jp/

本校は平成27年度に開校した、施設一体型小中一貫教育の学校です。9年間を見通したカリキュラムに沿った独特の教育活動を展開しています。その特徴の一つとして、地域のひと・こと・ものを活用した「ふるさと学習」に力を入れています。中でも佐久穂町は、総面積の8割以上が森林を占めており、林業に関わる体験活動に大きな特色があります。

4年生では「みどりの少年団」の活動に関わってきたこのコマ打ち体験を行いました。ドリルを使ってほだ木に穴をあけ、そこにシイタケの菌の付いたコマを打ち込みました。最初はこわごわやっていた子ども達も、徐々に楽しそうに取り組んでいました。子ども達が植菌したシイタケは、2年後には収穫することができます。



5年生は、林業の現場で使っている高性能林業機械の試乗体験をしました。大木を瞬く間に同じ長さに切り分けるプロセッサや、どんな山道でも木材を楽に搬送できるフォワーダを運転するなど、機械を使った様々な作業を体験しました。子ども達が輪切りにした丸太は、家に持ち帰ってコースターや鍋敷きとして使っています。

6年生は山の斜面の草刈りや地拵えを行い、そこに穴を掘って苗木を植えました。佐久穂町を象徴する重要な樹木であるシラカバとカラマツを植えました。子ども達が植林したこれらの木は、50年後に切り出すという壮大な計画になっています。



7年生は、木の発生から加工までの流れを勉強しました。苔に覆われた原生林の散策からはじまり、伐倒や搬送等の作業を見学しました。そして切り出された木材がチップや杭・板に加工されていく様子を、実際に木に触れながら学んでいきました。

8年生は、職場体験学習の一つとして林業に携わりました。森林組合や地元の事業所に赴きチェーンソーによる輪切りや草刈り・薪割り等の作業を体験しました。ツリークライミングや高性能林業機械を使った材木運びなども行いました。



これらの活動には、「さくほ森の子育成クラブ」というボランティアの方々が常に同行し、子ども達の体験活動をサポートしています。このクラブには林業事業体のほか、地方事務所や役場の林務係の方々など、森林や林業のことを熟知している人達が名を連ねています。これらの方々が親身になり、バックアップしてくださるからこそ実現できた活動です。

また佐久穂町からは、子ども達のために、町有林内に11ヘクタール以上に及ぶ広大な学校林を用意していただきました。現在そこには4年生が植菌したほだ木が保管されています。6年生が植林したシラカバとカラマツの苗木もここに植えられています。広い学校林があるからこそ、50年にわたって毎年植林をしていくことが可能です。更にもっとこれから遊歩道を整備して、子ども達が散策できるようにするなど、学校林の活用の仕方も工夫していく予定です。

